

平成 21 年度「三田市史を読む会」現代資料編第 4 回講座 2010 年 1 月 9 日

## 田園文化都市としての三田市のなりたち

三田市史執筆委員・岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授 藤井 和佐

### はじめに

人～農業者の生き様～に注目することによって、空間構造～農村・町場・都市のつながり～と、時間構造～農業とともにあった三田市～とがみえてくる。

### 1. 農家数・農業者数の推移（資料 381・382 より）と三田農業

- (1) 専兼別農家数 1960(昭和 35)年 専業 1,018、第 1 種兼業 1,247・第 2 種兼業 821 戸  
2005(平成 17)年 専業 232、第 1 種兼業 163・第 2 種兼業 1,404 戸
- (2) 農業就業人口 1960(昭和 35)年 総数 7,569 (男性 3,126・女性 4,443) 人  
2005(平成 17)年 総数 2,630 (男性 1,143・女性 1,487) 人
- (3) 三田市における農業の位置づけ (資料 334「中核産業としての農業に関する議会質問」)

### 2. 「農」の礎

- (1) 三田牛をつくる (資料 377「肉牛肥育の名人」)
- (2) 集落の自治 (資料 351「川除区の水あて当番制度」)
- (3) 過疎の村の取り組み (資料 352「永沢寺花菖蒲園の業績」)

### 3. 暮らしに活かす「農」～農村女性の活動～

- (1) 農村女性のグループ (資料 345「三田市生活改善実行グループの県功労賞受賞」)
- (2) 商店街のなかの農産物直売所 (資料 348「農産物直売所『ほんまち旬の市』の再開」)

### 4. 三田農業を未来につなぐ若者たち

- (1) 三田米をつくる (資料 365「有機の米づくりに取り組む」)
- (2) 三田で就農する (資料 330「新規就農者の活動事例」)
- (3) 農業青年のグループ (資料 355「ゆりのき台自治会と三田耕楽クラブが朝市で交流」)

### おわりに

農業者の営みと住民の暮らしのなかに田園文化は生きており、今の三田市がある。